

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年3月8日号



市長、福祉や教育の願いには、「お金がない」 北陸新幹線など「いくらかかるか不明だが、やる」

2月27・28両日、市議会本会議で、各党からの代表質問。特徴を紹介します。

※ ※

●日本共産党から、財源規模も示しながら、「子ども医療費支給制度の拡充、中学校給食実現への年次計画スタート、給付制奨学金創設など」を求めるも、市長答弁「お金がない」。



のか。大型事業の誘致や計画を止めるべき」との質問に、市長、金額を明らかにできないのに「やる」と強弁。

●同じく「市の『宿泊施設拡充誘致方針』の撤回を」との質問に、市長「地域に貢献しない施設はお断り」と言いながら、その裏付けは「上質施設は未だ足りない」。

●自民党や公明党は、「市長選で福山候補や共産党は、子ども医療

費拡充など『すぐやるパッケージ』は市予算の1%で」と言っていたが、予算の多くは使途が限定されており、使

きょうできることを明日最近の に延ばさなくてよかった相談から

えるのは約五百億円しかない」と市長への質問そっちのけ。しかし予算7〜8千億のうち、70〜80億でできるので、すから「1%」は財政の目安を分かりやすく紹介しただけの百分率の話。五百億円あれば、おつりが出ます。語るに落ちる一幕。

木曜にAさんから電話。「友人のBさんが入院中。生活保護受給で医療保護のハズだが、『区役所から国保証が送られてきた』。経過を調べてほしい」。翌金曜日は議会で対応

国や市はウイルス対策に万全を

新型コロナウイルスの影響について、市民の皆さんに、現状をお聞きしています。写真上は、いずれも中小企業・零細事業者の団体への聞き取り。「客が激減。融資でなく補助金を」「首相の独断で混乱している」等々の声。学校では「子どもたちが登校すれば受け入れる。給食はない。教師は通常通り」。学童保育所では「情報が混乱しており、未だ保護者には確定的なことは言っていない」。保育園では「ウチは変わりなく保護者の期待に応えたい」等々。

は2月29日。月末。急いで区役所からの封筒を開けると保険証と「限度額認定証」も。夜7時頃でしたが慌てて病院の窓口へ提出。入院は1月中旬頃、国保証は2月からの書かれて

り ※週明けに照会、打切ら適用されます。に出せば、当月1日から。限度額認定証は、所得により、病院等への支払額に限度を設けるもの。その月中に窓口に出せば、当月1日から適用されます。 ※週明けに照会、打切ら適用されます。に出せば、当月1日から。限度額認定証は、所得により、病院等への支払額に限度を設けるもの。その月中に窓口に出せば、当月1日から適用されます。

